

シニア専修コース 受講生のあゆみ 2010—2019

平成14(2002)年に公開講座の発展形として3年制のシニア専修コース(文学歴史学科)が開設されました。その後、3学科(文学歴史・国際文化・情報)および研究生の現在の形に変化し、ますます多くのシニア受講生が学び、クラブ・同好会や研究サークルなどを立ち上げ、活発に学習や活動を行っています。

ここでは、シニア専修コース・「けやき便り」編集クラブの皆さんに、2010年～2019年に発行された「けやき便り」の記録から「シニア専修コース 受講生のあゆみ」としてまとめていただいています。

「けやき便り」で見る

シニア専修コース 受講生のあゆみ

令和元（2019）年度～平成22（2010）年度



この『受講生のあゆみ』は、「けやき便り」に掲載された記事から、主なものを「学びを深める（先生と共に）」や「行動する（個人の旅行記など）」、「繋がる（クラブ・学年・学科などの自主活動）」などの項目に沿って、掲載年度を遡って並べています。

「けやき便り」は、シニア専修コースの情報誌として、「けやき便り」編集クラブが平成22（2010）年度の創刊号から令和元（2019）年度の第21号まで、編集発行しています。

学びを深める（先生と共に）

必修科目や共通選択科目ご担当の先生が、校外学習・研修として提案された「学びを深める」取り組みがあります。また、先生と受講生が共に企画し、現地に出向き「学びを深める」取り組みがあります。こうしたフィールドワークや資料館見学などの取り組みから抜粋しました。

- ① 松山先生と「日本の風土と文化」で学習した「食糧安全保障」の学びを深める旅へ



江戸時代の飢饉対策を学んだ

パンフレット名は『かてもの』

…米沢藩主である上杉治憲（鷹山）はひっ迫する藩財政の改革を進め、領民を大切にすることで有名です。…図書館では、青木昭博さんが鷹山の藩政改革や『かてもの』（写真右）について次のような話をしてくれました。——飢饉に備えた領民のための救荒書が『かてもの』で、米沢藩が享和2年（1802）1579冊を木版印刷し、領民に配りました。



令和元年(2019年)

松山利夫先生と山形・米沢藩『かてもの』の旅(文歴1) <資料①>

国際文化研究「学習成果発表会を終えて」(研究)

平成30年(2018年)

影山尚之先生と『万葉集・和歌浦から藤白へ』の旅(文歴3) <次頁資料②>

松山先生と『遠野物語』の旅(国際3)

平成29年(2017年)

松山先生と『出雲国風土記』の地に行く(国際2)

河合利光先生とトルワールド見学バスツアー(研究)

平成28年(2016年)

河合先生とモンゴル民族博物館・モンゴルの里へー文化を学ぶバスツアー(国際1) <次頁資料③>

② 影山先生と「日本文学1」にゆかりのある地「和歌浦から藤白」バスツアー

けやき便り 第19号 平成30年11月21日

万葉の旅
「和歌浦から藤白へ」
 - 影山先生と夏のバス旅行 -
 文学歴史学科3年 高山 純子



夏さ真っ盛りの2018年7月末、影山先生の主催により〔日本文学1〕の夏のバス旅行が実施された。
 …謀反の疑いをかけられた孝徳天皇の皇子・有間皇子は、藤白神社から藤白峠を越える熊野古道の坂、藤白坂で絞首された。有間皇子の歌に『家があれば 筈に盛る飯を 草枕 旅にしあれば 椎の葉に盛る』とある。
 さぞ無念であったろう。現在、坂の登り口近くに皇子の墓とされる五輪石と歌碑が建っている。

③ 河合先生と「国際文化学科合同研修」課外授業バスツアーで「モンゴル文化」を学ぶ

けやき便り 第15号 平成28年11月16日

国際文化学科合同研修
モンゴル民族博物館・モンゴルの里へ
 モンゴル文化を学ぶバスツアー



…モンゴルの里ではゲルと呼ばれるテントの中で、モンゴルのお茶と揚げ菓子を食べながら、スーチンドロンさんから話を聞きました。ゲルの天井に開けられた天窗から差し込む日差しは照明になり、また刻々と床と壁を移動する日差しが時計にもなることを体験し、自然と調和した暮らしを感じることができました。



④



◀ 国際文化学科では河合先生のご指導の下、毎年学習成果発表会を開催し『旅とフィールドワーク』（河合先生監修）にまとめました。ここには多くの研究報告文が掲載されています。

平成27年(2015年)

吉本康子先生と講義で学んだベトナム料理を味わう(国際3)

河合先生と徳島県立鳥居龍造記念博物館バスツアー(研究)

吟行-田辺真人先生と行く歴史探訪ツアー(研究)

平成26年(2014年)

大江篤先生と平安京遺跡巡り(文歴2)

平成25年(2013年)

国際文化ース 学習発表&3学年合同発表会(国際2) <資料④>

河合先生と神戸でインドを体験するフィールドワーク(国際3)

平成24年(2012年)

大江先生と京都国立博物館「大出雲展」&方広寺・豊国神社、耳塚へ

河合先生と「トルワールド」へ(国際1)

河合先生と神さぶる山「生駒」へ(国際3)

平成23年(2011年)

オールドガール・スチューデントのフィジー旅行(河合先生と合流)(国際2)

大江先生「日本文学1」と奈良国立博物館特別展「天竺へ 三蔵法師三万キロの旅」観賞

河合先生と「姫路太陽公園」バス旅行

影山先生と紀伊国・白崎から藤白をゆくバスツアー

田辺先生と布引の滝から徳光院へ(文歴2)

平成22年(2010年)

田辺先生「史学1」の校外学習が神戸で

松山先生と国立民族学博物館へ

学びを広げる（主に仲間と共に）

学年や学科をはじめ、自主的なグループでの学びの活動があります。フィールドワークや学習会、留学生との交流会などを仲間呼びかけて、以下のように開催されてきました。

今城塚古墳・今城塚古代歴史館

ツアーに参加して



① 原先生の「日本史学1」の受講生有志8名が「6世紀のヤマトとアスカ」に刺激され「現地を訪ねるツアー」へ。



② 国際3年生（16期生）が2回に分けて、神戸八社と周辺史跡をめぐるフィールドワークを実施。

熱烈歓迎

台湾留学生との交流会開催



③ 台湾の開南大学から2週間の短期留学生11人とシニアによる、第一回交流会が開かれました。

「ニュージーランド学外研修が行われました」（2011年1月）



⑤ ヘリ遊覧飛行体験。マウンツクック雪上着陸、景観に息を呑む。

「国際総合研究」

フィールドワークで

神戸と姫路の ベトナム寺院を訪問する



④ 姫路の大南門本堂前で記念撮影



シナラ住民たちによる歓迎のカバの儀式

⑥ 河合先生の文化人類学を学んだ国際1年生ら5人が2010年2～3月に11日間のフィジー旅行へ。

令和元年(2019年)

今城塚古墳・今城塚古代歴史館ツアーに参加して(研究)〈資料①〉

平成30年(2018年)

神戸八社巡りフィールドワーク(国際3)〈資料②〉

朝鮮通信使がもたらしたもー「よもやま話の会」を開催(文歴1)

平成29年(2017年)

「みんなの尼崎大学はじまるの会！」で本校受講生2名が報告(研究)

平成27年(2015年)

熱烈歓迎 台湾留学生との交流会開催(第1回)(研究)〈資料③〉

神戸と姫路のベトナム寺院を訪問する(国際3)〈資料④〉

講義で学んだベトナムの料理を味わう(国際2)

フィールドワーク? 沖繩道中記(受講生5人で)(国際3)

平成26年(2014年)

「山上の聖地」(高野山夏期大学に参加して)(研究)

平成25年(2013年)

フレンドシップ フォース活動に参加(ホームステイを通じて国際理解)(国際1)

平成24年(2012年)

世界遺産の高野山へ学ぼう～(文歴3)

平成23年(2011年)

ニュージーランド学外研修が行われました(研究、イラスト文歴2)〈資料⑤〉

平成22年(2010年)

魅惑の島、フィジーを旅した(国際2)〈資料⑥〉

繋がる(クラブ・学年・学科などの自主活動)

シニア専修コースが始まった頃から、クラブや同好会が結成され、自主的な活動を進め、親睦を図る記事が多く掲載されてきました。謡曲部、「けやき通信」の発行などが記事にあります。ここでは、クラブ・同好会や各学年・学科の活動を通して、受講生が繋がる活動を取り上げました。各学科の新入生歓迎会や卒業生を送る会、同期会の多くを割愛しています。

- ① 「第56回けやき祭り」(2019年10月)。例年「けやき祭」にはシニアの各クラブからも参加します。この年は軽音楽同好会、ITを楽しむ会、遊歩クラブ、朗読倶楽部、多彩な趣味の会などのクラブが参加しました。

けやき便り 第21号 令和元年(2019年)11月28日
3



第56回 けやき祭

盛大に開催される

開花亭満席のビンゴ大会

令和最初のけやき祭が、10月19日(土)と20日(日)の両日にかけて盛大に開催されました。19日は曇り空でしたが20日は好天気に恵まれ格好のお祭り日和となりました。

今年のテーマは「NEW STAGE!〜令和最初のけやき祭〜」ですが、令和の時代になった事にもなで、新しいけやき祭にするの意図が込められています。

けやき祭は正門通りからスタートです。テント舞台が立ち並び、舞台から学生さんの元気な声がかかります。食べ物販売の掛け声、各クラブによる催しへの案内等と、とにかく元気印です。



会場は、学生はもちろん多くの地域住民や家族連れで賑わっています。

シニアによる取り組みでは、今年も熟年パワーを発揮して多くのブースが設置され、ライブステージもあり、そしてメイン会場である開花亭にたくさんの来場者を迎えることができました。

「時代屋」

社会連携推進センターが企画運営する「時代屋」ブースでは、シニア専修コースと公開講座に関する相談コーナーがあり、催しものとして人気のダーツ、魚つり、黒ひげゲームがありま

した。ドキドキワクワクのゲーム対決で、一回100円でのおまけ付きです。来場の子供たちの笑顔が溢れていました。



けやき軽音楽同好会

2日間にわたり日頃の練習成果をステージで披露されました。

1日目の19日は「野外ステージ」で約30分のライブ演奏、2日目の20日は例年の開花亭特設ステージから、本格的な演奏場所である第一音楽室で演奏されました。

結成から4年経過したシニアバンドは毎年パフォーマンスが高められ、歌姫は3人になりました。演奏は70年代に流行したポップス、フォークと懐かしい曲目です。



令和元年(2019年)

平成31年度入学式-歓迎交流会で各クラブ同好会の紹介

「けやき多彩な趣味の会」発足(切り絵、バルーンアート、花文字、オカリナなど)

第56回けやき祭(軽音楽同好会、朗読倶楽部、多彩な趣味の会、ITを楽しむ会、遊歩クラブが参加〈資料①〉)

楽しく、真剣に、和気あいあい
-朗読倶楽部探訪

青春18きっぷの旅

美術鑑賞とグルメの会(国際同期生)

平成30年(2018年)

第4回情報学科同窓会開催〈次頁資料②〉

ブラボー！文学歴史学科15期生(文歴3)

「ツバメのねぐら入り」遊歩クラブ
50回例会〈資料次頁③〉

和気あいあいーカラオケクラブ探訪記
〈資料次頁④〉

平成29年(2017年)

楽しいステージで盛り上がった「シニア専修コース新年交流会」〈資料次頁⑤〉

第2回情報学科同窓会開催

「七夕まつり」に軽音楽同好会が初参加

第54回「けやき祭」に遊歩、IT、軽音楽、朗読の各クラブが参加

遊歩クラブ35回例会「奈良西ノ京を歩く」
〈資料次頁④〉

② 情報学科同窓会(2019年3月)



第1部講演会は、恩師山本恒名誉教授にお願いし「これからの情報社会とシニアとの関わり」と題して特別にご講演を行っていただき、第2部は楽しい歓談となりました。(第20号)



③ ④けやき遊歩クラブ例会



第50回例会「ツバメのねぐら入り」



第35回例会「奈良西ノ京を歩く」

⑤ 編集部員が「カラオケクラブ」を探訪

けやき便り 第19号 平成30年11月21日 22



けやきカラオケクラブ 探訪記

気軽に・楽しく・和気あいあが!

クラブの定例会場は、学校から歩いて3分、バス通りにある「まなまねこ」南店口。ここへ9月のある金曜日、2時開店の授業の後、食事もそこそこ取材に行きました。

「いらっしゃい〜」と店のドアを開けると、店員さんが声をかけてくれました。「あ、園田の方ですね。上ですよ」と、人を見るのは慣れたものという感じです。「コップを持って…」と言われましたが、まず例会の15号室へ。



⑥ 楽しいステージで盛り上がった「シニア専修コース 新年交流会」2017年1月



⑦ 卒業式で合唱を披露するコーラス部 (写真は2016年度)



平成28年(2016年)

第53回「けやき祭」-写真、コーラス、軽音楽の各クラブが参加し、文歴3年生と研究生が歩く広告塔(ちんどん屋)を演じる

遊歩クラブ第28回例会「学園バスで高野山に行く」

平成27年(2015年)

文歴3年卒業旅行(研究)

平成26年(2014年)

第51回「けやき祭」(コーラス部と写真部が活躍)

「生涯学習35周年記念によせて」木村センター所長、「記念講演」田辺眞人名誉教授など特集

平成25年(2013年)

「けやき祭」にコーラス部出演、写真倶楽部は大学写真倶楽部と合同写真展開催

平成24年(2012年)

「けやき写真倶楽部」発足する

平成23年(2011年)

卒業式・入学式でコーラス部が歌を披露<資料⑦>

「けやきデジタルカメラクラブ」発足

謡曲部活動報告

「けやきテニス同好会」が発足

平成22年(2010年)

「けやき便り」生涯学習30周年記念号発行

生涯学習30周年記念フェスタ「今日は一日生涯学習三昧」イベント・発表会特集

行動する(個人の旅行記など)

個人紀行記、旅行記は「けやき便り」にたくさん投稿されます。一人旅やグループでの旅行、ぶらり旅、研修の旅などさまざまです。人との出会いや驚き、そして発見が、その人らしい語り口で表現されています。

① 中国「西安」じつは・・・



日本となじみの深い旧都「西安」の城壁と阿倍仲麻呂記念碑

② 百寺巡礼



敬愛する五木寛之さんの『百寺巡礼』の足跡をたどり、10年かけて巡礼を終える。

(左)鳥取・投入堂

③ 霧ヶ峰高原と北八ヶ岳・縞枯山



8月に1泊2日のツアーに参加。茶臼山からの展望(上)と霧に覆われた白駒池(右)



④ タイ・ラオス・ベトナム周遊の旅



ベトナムと中国の橋を隔てた国境。中国へ渡ってベトナムに再入国しようとしたら拒否されるトラブルも。



嵐で停電。ローソクの下で一人ビールを飲む。

令和元年(2019年)

中国「西安」じつは…(中国の史跡を訪ねて)(研究・井上聖明) <資料①>

メコン川を旅する(前編)(国際・十河和夫)

百寺巡礼(文歴2・田畑芳彦) <資料②>

『50歳からの大学案内』で紹介された文学歴史学科2年 櫻井秀也さん

平成30年(2018年)

ジョージア訪問合唱団に随行して(研究・峠田桂子)

中国 九江市への旅(文歴3・服部年隆)

平成29年(2017年)

歴史の道「中国街道を往く」(情報3・藤原多計治)

平成28年(2016年)

2016 上海・美食の旅(研究・楊錦華)

霧ヶ峰高原と北八ヶ岳・縞枯山(研究・橋本秀明) <資料③>

タイ・ラオス・ベトナム周遊の旅(研究・十河和夫) <資料④>

オートキャンプ旬の素材を求めて(研究・楊錦華)

平成27年(2015年)

マッターホルンへの挑戦(研究・橋田利生)

ネパールの旅 ～ヒマラヤへのトレッキング～(国際3・道端まちこ)

平成25年(2013年)

10日間のトルコ旅行(研究・中村米三郎)

表現する・想う (エッセーや絵画作品など)

入学・卒業に際して多くの感想、何気ない生活場면을切り取ったエッセーなどが寄せられました。短歌や川柳をはじめ、多くの投稿がありました。割愛しています。

①



「東山ひがし茶屋街」水彩画
文歴3 山根邦男

②

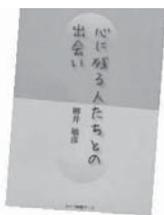


「絵手紙&川柳」
文歴3 阿部野英男

③ ~自分史を書こう、体験記を残そう~

「心に残る人たちとの出会い」を出版して

研究生 樽井敏彦



④

記憶の中で今もきらめく本、
今、心に響く本

研究生 村松 広子

(抜粋)この箇所(文)にどれだけ励まされた事か、今思っても切なくなります。教師を続けてこられたのも、この本があったからだと思っています。山崎豊子さんが、教育界のことを書きたいが、石川達三さんの『人間の壁』の本が素晴らし過ぎて書けないと言っていたが、私もその通りだと思います。



令和元年(2019年)

東山ひがし茶屋街—水彩画
(文歴3・山根邦男)〈資料①〉

「けやき便り」創刊のころ
(研究・中村米三郎)

「風薫る慈光院」で想ったこと
(研究・金森扶美子)

クラゲ水族館と“シンクロナシティ”
(研究・西島登志子)

平成30年(2018年)

四神とのめぐりあい(文歴3・高山純子)

「絵手紙&川柳」4選
(文歴3・阿部野英男)〈資料②〉

自分史『心に残る人たちとの出会い』を出版(研究・樽井敏彦)〈資料③〉

平成29年(2017年)

50年前の出雲地方への旅の記憶
(研究・橋本秀明)

記憶の中で今もきらめく本、今、心に響く本(研究・村松広子)〈資料④参照〉

平成28年(2016年)

古典文学を学ぶ楽しさ—『枕草子』を講読して(研究・相田晴夫)

マンホール蓋で旅の楽しみを増やそう
(国際2・眞鍋幸祐)

平成27年(2015年)

墨の香りにつつまれて(研究・高木貞夫)

「Not my Business」(スイスの空港で言われたこと)(情報3・徳田将之)

生涯学習30周年から35周年へ、そして40周年へ向けて(研究・中村米三郎)

平成28年(2014年)

木工に魅せられて(国際2・楊錦華)

わたしは学ぶ（個人論文）

学科での学び以外に、個人が研究・調査した文章が「けやき便り」に多く寄せられています。その内容は文学・歴史に関係があるもの、老後の問題、外国人労働者の問題など様々です。

①

民謡「あやぐ」が伝える



国の重要文化財に指定されている宮古上布。3年前、私は、この宮古島に伝わる伝統

工芸品をテーマにフィールドワークを行った。「伝統工芸センター」を訪ね、その製作工程をつがさを知る。苧麻裂き（ブーサキ）という宮古上布の材料となる細い糸を紡ぎだす体験もさせてもらうなかで、この貴重な布ができあがるまでいかに過酷な労働と時間が費やされているのか、まざまざと知ることになった。

令和元年(2019年)

民謡「あやぐ」が伝える宮古の歴史
(研究・松隈美江)〈資料①〉

現代経済の新しいところみーフェアトレード事業について(研究・馬場正子)

外国人労働者制度の重要課題
(国際3・木田信正)

時友村「諸事留控帳」にみる江戸の世相と暮らし(文歴1・藤原多計治)〈資料②〉

平成30年(2018年)

誇り高き満洲旗人(国際2・木田信正)
〈資料③〉

「サ高住心得帖」～サービス付き高齢者向け住宅の実態～(研究・酒井恵理子)

毘沙門天の別称多聞天に関する考察
(研究・中村米三郎)

田山花袋『蒲団』の文学故地を訪ねて
(研究・橋本秀明)

平成29年(2017年)

アメリカ大陸の古代神話について
(研究・馬場正子)〈資料④〉

平成28年(2016年)

地図について(研究・馬場正子)

継承される民俗芸能—園田・上食満の獅子舞(情報2・藤原多計治)

平成27年(2015年)

与謝野晶子と有島武郎有情
(研究・村松広子)

文字文化の断層を越えて—舊漢字を覚える—(文歴3・相田晴夫)

平成25年(2013年)

漱石の高尊遊民、そして今を考える
(文歴3・田畑正信)

② 時友村「諸事留控帳」にみる 江戸の世相と暮らし

文学歴史学科1年 藤原 多計治

時友村は摂津国武庫郡にあり、武庫地区の大字で現在の尼崎市城北西部に位置する。…「諸事留控帳」は、村方文書のひとつである。名主・庄屋が、領主からの触書、廻状を書き留めたもので、また村からの題署や村内諸事も記しており、村落の政治的動きを知ることが出来る。また、婦人の起居動作、礼儀作法、教養を高める内容でもある。

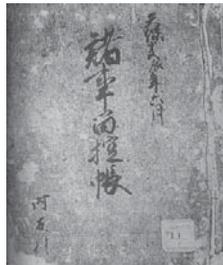


写真 諸事留控帳表紙

③ 誇り高き 満洲旗人

満洲旗人だけに着ることを許された旗袍 (チーパオ)



正黄旗

「満洲旗」社会の組織文化である「満洲八旗」とは、元々建州女真族の生活の生業となす巻き狩りと戦いする方法で、黄旗・白旗…の八旗あります。

④ アメリカ大陸の古代神話について



メサの神殿

アメリカ大陸は…ヨーロッパの侵略でたくさんの原住民が殺され、そのため、神話も殆ど残っていない。かろうじて残る神話を紹介する。

園田シニアの 人間探求

「けやき便り」では 2015 年の第 11 号から、個人に焦点を当て、その方の人生や夢中になったこと、今続けておられることなどをインタビューなどを通して紹介する「園田シニアの人間探求」欄を折に触れて設けてきました。



人間探求 6



出前講座で話をする酒井さん



人間探求 5



北アルプスで
左が小西さん

人間探求 4



2回に分けて北海
道一周一人旅

人間探求 3



親睦会や交流会で
も大活躍の落田さ
ん

人間探求 2



写真は有名な香木である關奢待
(らんじゃたい)。正倉院の御物。

人間探求 1



熊野本宮大社にて (左から2人目が伊藤さん)

平成29年(2017年)

人間探求7—山に魅せられて50年—
世界の高峰に挑む(国際2・川村隆志)

平成28年(2016年)

人間探求6—出前講座やってます—
『サ高住の探し方』を出版
(研究・酒井恵理子)

平成27年(2015年)

人間探求5—学ぶことの楽しさ—
70歳で夜間高校入学、そして園田へ
(研究・小西温代)

人間探求4—新たな発見を求めて 自転車
一人旅 (研究・高木貞夫)

人間探求3—楽しいマジックで社会貢献
したい(国際3・落田義隆)

人間探求2—伝統文化の“香道”を楽しむ
(文歴1・山田弘子)

人間探求1—私の“チンドン”ものがたり
(文歴1・伊藤幸子)

公開講座「人間を考える」(シニア受講生が講師)

本校の公開講座「人間を考える」は1982年にスタートした歴史ある看板講座で、本学シニア専修生が講師を務めるのは今年で6年目です。ここでは講座のテーマと名前を紹介しています。

シニア専修生が講師として発信

園田学園女子大学公開講座

人間を考える ～人生を楽しむ～

2019年11月16日(土)、公開講座「人間を考える」で、本学シニア専修コースから岡田禮子さんと鈴木好夫さんが講師を務めました。当講座は1982年にスタートした歴史ある看板講座で、本学シニア専修生が講師を務めるのは今年で6年目となりました。

自分はいったい何を求めているのだろうか？
仕事一筋だった岡田さんは、退職した時に、自身に問いかけました。



鈴木さんは4年前にサラリーマンを務めながら、仕事を半分減らしてもらい、園田に通い始めました。



令和元年(2019年)

学ぶ楽しみ、学ぶ喜び(情報・岡田禮子)
〈写真①左〉

健康で文化的な生活を(国際・鈴木好夫)
〈写真①右〉

平成30年(2018年)

私の夢―枝葉の充実(研究・乙度麗子)
〈写真②〉

さあ旅に出よう(研究・横山誠)
〈写真③〉

お客さまを美しく着飾って、感謝する
(研究・今西伸子) 〈写真④〉

若い頃、やりたかったことに挑戦！
(研究・金森扶美子) 〈写真⑤〉

平成29年(2017年)

園田から発信する「楽しく生きる力」
(研究・峠田桂子) 〈写真⑥〉

人間を考える(研究・木村勲) 〈写真⑦〉

平成28年(2016年)

私のコミュニケーション術
(研究・徳田將之) 〈写真⑧〉

私のコミュニケーション術
(研究・阪田正樹) 〈写真⑨〉

平成27年(2015年)

経験から年齢を考える(研究・木下俊造)
〈写真⑩〉

アンティエイジングを考える
(研究・中村米三郎) 〈写真⑪〉

写真配置

①	
②	③
④	⑤
⑥	⑦
⑧	⑨
⑩	⑪

クラブ・同好会代表の声

クラブ・同好会には、受講生の多くが参加しています。歴史あるクラブから、最近結成されたクラブまであり、シニアライフを満喫中です。現在活動中の8つのクラブ・同好会の代表から、活動の様子や目指すものなどを語っていただきました。

▶ けやき多彩な趣味の会 (2019年設立)

花文字、切り絵、オカリナを楽しもうということで、多彩な趣味の会は、ぴったりの名前です。オカリナは買ったんですが、ドレミファの音が何とか出るくらいで、結構難しいんでやめることになりました。

でも夏頃には浴衣の着付けや美容・メイク、来年はハンドマッサージなどにも挑戦しようと思っています。

バルーンアートのきっかけは、けやき祭で子どもが退屈していて、何かできることがないかと思い、私が習いに行ったことです。子どもも含めて楽しんでくれたらうれしいですね。このクラブで覚えて、家でもできる趣味を持って暮らしていくことをめざしています。

部長・今西伸子さん (談)



▲ 「七福神」切り絵
(第19号より 今西さん作)

▶ けやき朗読倶楽部 (2017年設立)

自分の声で何かを表現したい…園田の仲間と朗読したい。そんな思いで2017年の秋に男女17名で発足しました。

発声練習や早口言葉。「アクセントはあまり気にしない」と、皆がやりやすいように工夫し、和気あいあいと月2回練習しています。

それぞれが好きな文を読むミニ発表会が

年に2回あって緊張もしますが、一人ひとりが選んだ物語の世界に浸れる至福の時間でもあるんです。大きな舞台はけやき祭。こちらはもっと緊張します。

3年目に入り初心者だった部員たちが大きな声で前を向いて朗読を楽しんでいます。そしてみんなの楽しむ力を朗読ボランティアとして発揮できればと、これからの活動の場も広がりそうです。

部長・金森扶美子さん (談)



▲ けやき朗読倶楽部(2019年度「けやき祭」の舞台発表)

▶ けやき軽音楽同好会 (2016年設立)

4年前に学生時代にギターを弾いていた徳田さんと、始めて3か月ほどの私でバンドを始めました。その後、軽音楽同好会を立ち上げて今年で5年目を迎えています。現在部員は男性4人、女性コーラス3人で「THE GAKU-YOU」として活動中です。

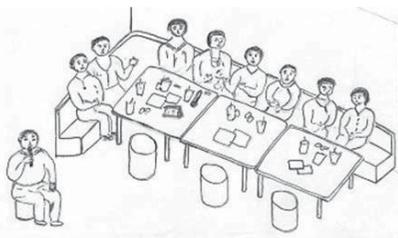
夏に暑気払いコンサート、秋のけやき祭でのライブをはじめ、昨年は9回のコンサートを行い、また月1回老人ホームでコンサートをしています。そうした社会貢献活動を通して、園田シニア専修コースを広く知ってもらいたいと考えています。今年は5周年にあたり7月の暑気払いコンサートは、西宮市の兵庫県立芸術文化センターで公演します。更なるステージに向かって邁進あるのみと皆で頑張っていきますよ。

代表・木村勲さん(談)



▲ けやき軽音楽同好会のメンバー7人

▶ けやきカラオケクラブ (2012年設立)



▲ けやきカラオケクラブ例会イメージ
〈第18号より 木下さん作〉

出入り自由、お喋り自由の快適な空間を提供するのがこのクラブの特徴でしょうか。

カラオケルームの手配、新入生歓迎会や忘年会の企画をしています。皆さんが気持ちよく歌うのを見ていて、皆さん楽しんでいるなあとと思います。

発足当初からの「歌姫」もいるんです。例会で皆さんが歌った曲を次回の例会までに50音順にまとめて一覧表を作成しています。

クラブ発足時からのデータを残していますが、来年中に千曲を目指しています。私はあまりマイクを握ることがなく、一人カラオケで練習しています。クラブの宣伝をもっとという声もあるんですが、あまりPRしていないんです。

部長・木下俊造さん(談)

▶ 「けやき便り」編集クラブ (2010年設立)

この10年間で第21号まで、学内情報誌としてはほぼ年2回発行してきました。皆さんが取り組まれた学内外の活動や新入生の歓迎会、クラブ報告、旅行記、エッセイ、俳句、絵、個人の研究文の投稿などで、毎号30ページを超えています。

学園の行事は勿論ですが、学園生活をエンジョイしておられる皆さんの日頃の思いや気づきをぜひ伝えていきたいと思ってきました。掲載の記事には、それぞれドラマがあり、喜びや苦労など、書き手一人一人の個性と共に表現されています。そこからとても刺激を受けてきましたし、これからの人生のヒントも得られました。

私は前編集長から引き継いで3年目です。部員は16名で、現役生も増えつつあります。これからも皆さんの「声」を伝え、少しでも「繋がり」が深まればと思っています。

編集長・櫻井秀也さん(談)



▲ 編集会議の様子(2019年)

▶ **けやきITを楽しむ会・けやきテニス同好会・けやき遊歩クラブ**
(各 2010年、2011年、2014年 設立、3クラブの代表は中村さん)

園田学園シニアに70歳で入学し、最初に「けやき便り」編集クラブから始まり、次々にクラブを立ち上げました。

ITを楽しむ会は、デジカメクラブからの発展改称でした。写真加工を通してパソコンを学ぼうと始めたんですが、写真撮影を教えるの声があり、写真倶楽部が新たにできましたが共存状態でした。

遊歩クラブは遠足感覚で入りやすいのか、120名います。ここ数年は、運営委員が企画・下見・本番を担っています。当日は小グループで自由に行動し皆さん楽しんでます。



▲ けやきITを楽しむ会



▲ けやきテニス同好会

テニス同好会は週1回、学園のコートをお借りしてゲームと練習をしています。本校生との交流があるなど、学園のご厚意は、本当にありがたいです。

こうしたクラブ活動を通して、仲間作りを目の当たりにできたことと、自分の健康寿命がとても伸びたことが喜びです。

各クラブの代表・中村米三郎さん (談)



▲ けやき遊歩クラブ

本『受講生のあゆみ』につきまして以下ご留意ください。

- 1) 「学びを深める」「学びを広げる」「繋がる」などグループ活動をベースとした項目では、寄稿者名を割愛し、それ以外「行動する」以降の個人の活動については、寄稿者名を掲げました。
- 2) 掲載した年表の中で、寄稿者名のない記事は、編集クラブによる取材・執筆です。
- 3) 記事名や切り抜き記事は一部加工をしているところがあります。
- 4) これまでの「けやき便り」には多数の寄稿をいただきましたが、紙面の制約により今回掲載できたのは一部です。ご了解をお願いします。